

メモリーモジュール C-SC115

概 要

現場でのデータ回収・大容量メモリー目的としたメモリーモジュールです。CSI/O ポートに接続して、C-CR800 などのデータロガーからデータを回収、PC には USB 接続してデータを転送します。データロガーの CSI/O ポートに接続するだけなので、誰にでもデータ回収ができます。現場に PC を持って行かなくてもデータの回収作業が可能なので、悪天候下でもデータの回収が容易に可能です。回収用以外に、データ保存拡張用外部メモリーとしても使用可能です。また、このモジュールを PC の USB ポートに接続して、PC とロガー間の通信インターフェースケーブルとしても利用可能です。



C-SC115 メモリーモジュール
PC ←USB CSI/O→ロガーへ

注意)

- ・LED 点滅中にはロガーから抜かないで下さい
- ・プログラム中に出力命令が必要です (TableFile)

用 途

- ・大容量データ保存先として(各ロガー)
- ・CR800 などの外部記憶として
- ・現場でのデータ回収用として

仕 様

保存容量	2GB(フラッシュメモリー)
電源/消費電流	12V(USB,CSI/O ポートより供給) / 動作時 35mA
大きさ・重さ/環境	105X43X18mm 64g / -25℃～+50℃
付属品	SC12 ケーブル
ロガーとの接続	CSI/O
USB 規格	USB2.0
SDC アドレス	0:データロガーからのデータ保存 7(8,10,11):PC との接続用
データロガーOS	CR1000 : OS4 以後 CR800/CR3000 : 全 OS
使用可能ロガー	C-CR800, CR850, CR1000, CR3000, CR6 (CR-200X は使用不可能)
ソフトウェア	LoggerNet V3.1.3 以後 PC400 V1.2.1 以後

SDM-CANbus インターフェース C-SDM-CANbus

概 要

この装置は、CANbus ネットワークからデータロガー(C-CR1000、3000 など)にデータ取得したり、逆にデータロガーで計測したデータを CANbus 上に送信することを可能にするものです。また、CANbus ネットワーク上のデータとロガー直接のデータを同時に取得することも可能です。C-SDM-CANbus ネットワークの変換には Philips SJA1000 CAN controller 16MHz; CAN 2.0A, 2.0B active/passive モードがサポートされています。CANbus プロトコルは、自動車試験をはじめ様々な工業計測で使用されています。

この装置は受信専用の装置、ポーリングリモート装置、またはセンサーとして動作します。ポーリングリモート装置では、リモートフレーム要求を送信または応答します。センサーとして動作するときには、CANbus ネットワークにデータパケットを送信します。通信速度は 1Mbps までサポートしています。



仕 様

I / F	SDM
コントローラー	Philips SJA1000 CAN controller 16MHz
CANbus インターフェース	PCA82C250driver 1Mbps /12V 電源 PCA82C251driver/24V 電源(12V 電源で使用可能。ただし消費電流+50mA 増加)
CANbus コネクタ	CIA draft standard 102Ver2 9-pin D コネクタ (ただし、出力電圧は規格が 7-13VDC なのに対して、5VDC)
その他の端子	CAN High, Low,G 端子
モニターモード(Listen mode)	安全上の理由から、受信せず、モニター(Listen)モードでの動作がジャンパーで選択可
電 源	7~26VDC
消費電流動作時	自己電源、アイソレーションモード 70mA: recessive state 120mA: dominant state 非アイソレーションモード 30mA: recessive state 70mA: dominant state スタンバイ(非アイソレーション): < 1 mA ロガーとの通信時: 50mA
ア イソレーショ	スイッチ選択: ロガーと CANbus 間の電解アイソレーション 50V: 最低
動 作 環 境	-25℃～+50℃
大 き さ	175L×100H×23Dmm 300g